

「使える製品」「使えない製品」

高齢者を意識して開発された入浴用製品。高齢者住宅が広く普及してきたが、高齢者住宅をターゲットとして開発された製品は少ない。その中で入浴に関する製品は、高齢者向けが開発販売されている。先月号で取り上げた、介護用ユニットバスと今月に取り上げる、個浴介護浴槽である。

二〇〇六年に機械に頼らない介護浴槽が発売

介護度や、**ii**の方を対象とする特養では、寝台型浴槽や車いす対応型浴槽が使われてきた。しかし、入浴する方の気持ちを考えるのと体の不自由さに応じて開発された機械での入浴には大きな抵抗感もあった。このような機械に頼る入浴方法と全く違う方向でのアプローチが2005年から2006年にかけて現れる。高齢者になって体が不自由になっても、それまで使

ってきた普通のお風呂に入る形を継続したいと考えた製品が、全く違う形をとって発売された。

ひとつはメトスの「個粹」、もうひとつは酒井医療の「パンジー」である。

「流れ作業介助」から「個別ケア」を指した「個粹」

「個粹」はメトスと大阪市立大学との共同研究「個別対応型入浴システムの提案」に基づき、歩行が自立している人から座位保持が可能な人まで利用できるユニバーサルデザインの浴槽として開発、販売された。従来型の個浴浴槽にリフトを一体デザインとして取り付けたものである。自立度に合わせた入浴を提供する「パンジー」

「パンジー」はそれまでの浴槽の概念を全く変えた製品で、体の不自由になった高齢者のうち、介護度**cc**程度の方までを

対象とした製品。浴槽へのまたぎという行為が高齢者にとってバリアーになっていることに着目し、そのバリアーをなくそうとした発想から製品作りがスタートした。

2006年同じ時期に発売されたこの二つの製品は、その後の高齢者の入浴方法をリードしていくことになる。

「パンジー」タイプは、一年後に浴槽メーカー2社から同様のコンセプトの製品が発売されている。OG技研の「ボランテ」とアマノの「アビット」である。両方の製品とも貯湯タンクを備え、短時間で給湯できること、毎回お湯を全量入れ替える清潔なことを特徴とし、先行するパンジーとの違いを出そうとした。

入浴方法から介護浴槽を分類する

酒井医療の「パンジー」を意識して開発された「ボランテ」と「アビット」であるが、浴槽の形態としては浴槽壁を上下に移動する方式をとり同じ発想で作られているが、入浴のしかたとしてはかなり異なっている。

このcc社の製品は同じタイプとして分類されることが多いが、私は、入浴方法からみると別のタイプになると考えている。「ボランテ」と「アビット」は入浴姿勢が足を伸ばした長座位の姿勢しかとれず、この制約は体の状況によっては使いにく

いものとなる。「パンジー」は昇降座面の上下の移動によって、膝を曲げた姿勢も取れる。

一方浴槽とリフトを組み合わせた方式は座り形式の入浴形態で体の状態に幅広く対応することが可能であり、私のところでは、施設の個浴として使うことが多い。このタイプの欠点はリフトに空中に吊り上げられる不安感にある。最近の製品は、浴槽を埋め込むことによって、空中の吊り上げ高さを抑えるようになっていく。メトスの「個粹」もアマノの「キノバス」も浴槽を埋め込み随分使いやすくなっている。「個粹」はリフトの支柱が使わないときは収納され普通の浴槽になり、「キノバス」は木目模様が落ち着きをもたらし、どちらも「使える製品」となっている。

リフト浴と介護浴槽の優劣

「パンジー」は入浴方法としては、「ボランテ」や「アビット」よりも、リフト浴に近い形を取る。体を空中に吊り上げるのではなく、浴槽の壁を下げることによって、リフト座椅子に座り、お湯の中に降りていく形態をとる。結果としてはリフト浴の欠点を解消し、なおかつ座り形式の入浴方法を可能としているため、体の状態に応じて幅広く対応することが可能となっている。

表1 入浴タイプ別浴槽比較

タイプ	浴槽昇降エプロン・半座位＋長座位	浴槽昇降エプロン・長座位		浴槽＋リフト	
製品名	パンジー	ボランテ	アビット	個粋	キノバス
会社名	酒井医療 (株)	オージー技研 (株)	(株) アマノ	(株) メトス	(株) アマノ
入浴方法					
定価	1,980,000	2,550,000	2,750,000	2,891,000	3,450,000
給湯方式	給湯	貯湯	貯湯	給湯	給湯
浴槽内寸法 長さ×幅×深さ	1140×628×590	1220×580×445	1070×560×520	1,130×620～710×510	1350×637×530
UBへの設置	可能	可能	可能	可能	不可
UB浴槽と取替	可能	不可	不可	不可	不可
特徴 (カタログに記載された特徴)	入浴者の身体機能レベルの変化にあったオプション設定が出来る。	新しいお湯でいつも安心。循環式のボランテエコを発売。ランニングコストを削減	浴槽へのアプローチが優れている。ゆったり入浴。視認性がよい。衛生的	一台でみんなが使えるユニバーサルデザイン。	いつまでも木製浴槽に入りたいたいの声に、リフトつき木目個浴で対応。

「入浴すること」「入浴を介護すること」
が一つの商品
メトスと酒井医療の製品開発が優れていたのは、入浴を単に浴槽というハードウ

エアリーとしてとらえるのではなく、「入浴すること」や「入浴を介護すること」のソフトウエアを同時に考えようとしたことにある。
普通の入浴方法に近い形式から開発がス

ターゲットした介護浴槽であるが、浴槽というハードを売るだけではなく、入浴の仕方、入浴に伴う介護の仕方と同時に商品として売っていることを忘れてはいけない。
体の状態に合わせた浴槽の使い方を提出できたのは酒井医療だけ
介護浴槽の社に、各社の製品が、高齢者の体のどのような状態の方に使え、更にもっと介護すればよいか、資料をそろえているかたずねた。的確な資料を提出したのは、酒井医療だけであった。
酒井医療ではパンジーの入浴や介護の方法を、片麻痺の有無で分け、身体機能レベル順に紹介している。
片麻痺の無い人
一 歩くことが出来る人
二 バランスが取りづらい人
三 立ち上がり動作が不安な人
四 車椅子を利用する人
片麻痺のある人
一 座位姿勢を保てる人
二 立ち上がり動作が不安な人
三 車椅子を利用する人
四 座位姿勢を保ちにくい人

図1 片麻痺のある人で座位姿勢が保ちにくい人の入浴方法



姿勢に注意しながら背中を支えます。

介護浴槽の「使える製品」はハードとソフトが一体となって商品化されている製品

各社の介護浴槽は、それぞれの特徴を持って開発・販売されている。しかし、入浴や介護がどのようにおこなわれるか、その限界も含めて説明する姿勢に欠けている。これからは、入浴方法や介護方法の講習も製品価格に含めて販売されるべきである。それが使う人も、事業者も望む「使える製品」である。

砂山憲一

すなやま・けんいち

1972年 SANT-LUC DE TOURNAI 建築学校 (ベルギー) 留学、1975年 京都大学工学部建築系学科修士課程修了、1981年 株式会社建築設計設立。
主な著書に『医療・介護・建築関係者のための高齢者の住まい事業企画の手引き』(学芸出版社)。最近の執筆に日経ヘルスケア別冊 拡大するシニアリビングVOL3『あなたの病院は増改築できますか? 建築家から見た療養病床転換の問題点』、『病院のための高齢者住宅開設マニュアル』【老人保健施設部分担当】(ともに日経BP社)

